

単元名 無理のない自然な声の出し方で歌おう

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。
- (2) 声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりを理解し、音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10260102_001

【教材名】青空へのぼろう アニー・ローリー ◆希望という名の花を

(P.6～P.13)

【準備等】範唱音源、タブレット、デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「青空へのぼろう」の歌詞の内容、歌詞と旋律のまとまりとの関係を理解する。</p> <p>★「青空へのぼろう」を歌おう。</p> <p>○「青空へのぼろう」の歌詞を読み合わせ、歌詞の反復やまとまりを確かめながら内容を理解する。</p> <p>○「Let's Sing!歌うための準備」で歌うための姿勢や息のコントロールを参照し、各自で確認しながら歌唱する</p> <p>2 母音の発音や歌う姿勢、音域や強弱に応じた声の出し方を身に付けて表現する。</p> <p>★「青空へのぼろう」の全体の構造を理解し、曲想の変化を感じ取りながら表現を工夫しよう。</p> <p>○「Let's Sing!歌うための準備」の「母音の発音」を参照し、二分音符や付点二分音符などの音の長さのときの母音の発音に注意して歌う。</p> <p>○「青空へのぼろう」の全体の構造を理解し、曲想の変化を感じ取りながら表現を工夫する。</p> <p>○グループで確かめ合った内容を紹介して表現を発表し、学級全体で交流する。</p> <p>3 「アニー・ローリー」の旋律のまとまりを理解し、音域やオクターブ跳躍する際の発声などを身に付けて表現する</p> <p>★「アニー・ローリー」を歌おう。</p> <p>○「アニー・ローリー」の歌詞を確認し、旋律のまとまりを意識しながら歌う。</p> <p>○旋律のまとまりから全体の構造をとらえ、曲想の変化を感じ取りながら表現を工夫する。</p> <p>4～5 「青空へのぼろう」と「アニー・ローリー」の学習で得た知識や技能を生かして表現をもう一度工夫する。</p> <p>★グループごとに、表現を工夫しよう。</p> <p>○グループごとに、声の出し方や発音、歌う姿勢など、理解したり身に付けたりすることを確かめながら表現する</p> <p>○グループごとに確認し合った内容を紹介し、表現を発表しながら学級全体で交流する。</p>	<p>・タブレットでまなびリンクを活用してA～Dの範唱を調べさせる。</p> <p>・教科書P.8を参照し、範唱を聴かせたり旋律と歌詞の関係を考えながら歌わせたりする。</p> <p>・B後半の「のぼろうよ」の音域や、Cのフォルテを意識させる。</p> <p>・歌詞と旋律のまとまりとの関係、強弱の設定や曲の山場を意識させて歌わせる。</p> <p>【評】声の音色や出し方、母音の発音、歌う姿勢などに気をつけて歌唱活動に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・グループの発表を整理し、学級全体で表現してもよい。</p> <p>【評】創意工夫してグループごとの歌唱表現に取り組む活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・デジタル教科書を活用して、オクターブ跳躍する箇所の例示を確認させる。</p> <p>「青空へのぼろう」の活動を参考にして、音域やオクターブ跳躍する際の声の出し方、母音の発音などを再確認させる。</p> <p>【評】旋律のまとまりを意識しながら歌唱表現に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】グループごとに表現の工夫を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>【評】表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、主体的に歌唱表現を創意工夫する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

「青空へのぼろう」を主教材にして、歌唱の基礎的な技能を身に付ける。「無理のない自然な声の出し方」とは、旋律のまとまりを感じ取りながら音域や強弱に応じた声の出し方、子音・母音の発声などを身に付けて表現することを目指す。また、Let's Sing!「歌うための準備」で姿勢や息のコントロール、母音の発音などを理解しながら技能を身に付けたり、「アニー・ローリー」や「希望という名の花を」では歌唱表現に必要なさまざまな技能を身に付けたりすることを目指す。

【共通事項】音色・旋律・強弱・構成